重点施策 図書館活動の充実 所属 図書館 職・氏名 館長 南 健次

重点施	E	的	快適な読書環	書館として、誰もが気軽に立ち寄れ、市民の暮らしに役立つ便利な図書館とすべく、 境の構築と図書の充実を図る。また、心を豊かにし考える力の養成に資するため、 習慣定着を推進するため、学校における読書活動の環境づくりを支援する。					
心策の概要	今年度の 主要事業		〇図書館移転事業 〇学校連携事業 調べ学習貸出・図書館学級文庫(モデル実施)・学校図書館支援・連絡会議・おすすめ本チラシ 配布・読書アルバム配布						
事業の目標と実績		区	分		単位	H21	H22	H23	特記事項
	1	1日当たり入館者数 (本館)		目標	人	154	154	197	新図書館来館者数 37,843人
				実績目標		135	132	300	新図書館開館日数 126日
	ر ا		市民1人当たり貸出冊		- π	2.5	2.5	3.3	新図書館貸出冊数 90,763冊
		数		実績		2.2	2.1	2.1	全道10万人以下市立図書館平均 5.39
	3		本館・個人)	目標	回	0.88	0.86	1.10	新図書館蔵書数 126,789冊
	٦	(貸出冊	数/蔵書冊数)	実績		0.76	0.72	0.72	全道10万人以下市立図書館平均 1.36
	4	登録率		目標	%	10.3	10.4	14.0	新図書館個人登録者数 6,520人
			録者数/人口)	実績目標		9.0	8.8	15.5	全道10万人以下市立図書館平均 42.7%
	5		アルバム100冊達		人	180	150	300	1,000冊達成者3名
		成数		実績	人	301	145	285	
	6			目標					
	١٥			実績					

・図書館移転事業を実施し、11月12日に新図書館を開館した。

・移転後は、1日当たり入館者が300人を超えた。市民1人当たり貸出冊数は2.1冊であったが、

事業の分析効果の検証

開館日数が通常の4割であることから、実質大きく伸びている。回転率でも同様である。 さらに登録率は、旧図書館の1.8倍となった。これらは、アクセス改善等の利便性向上や企画 展示・イベント開催等ソフト事業の実施、蔵書の更新・充実などによるものと考えられる。 ・読書アルバム100冊達成数については、旧図書館の2倍となり、図書館学級文庫等の学校連携

・入館者数、貸出冊数、登録数は好調であるが、蔵書構成、展示・イベント等ソフト事業、 サー

課題

ビス向上等について、利用者の観点に立って検討と事業実施を図る必要がある。

- ・閉架書庫のあり方について検討が必要である。
- ・図書館学級文庫事業は、教師・児童生徒に好評だが、実施内容・方法について改善の余地が

評価の視点1 期待どおりの効果があったか。 中岡書館と比較オスと、実質的な数値は大

・旧図書館と比較すると、実質的な数値は大きく伸びており、移転による大きな効果 がみられた。

評価



評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の余地があるか

・移転直後であり、今後実績を積み重ね事業の手法を確立する中で、同時に見直しを 行いながら事業を推進する必要がある。

【評価の区分】

- A:期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
- B:ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
- C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
- D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後 の 方 向 性 表

立ち寄り型の便利で使いやすい図書館として、図書館が果たすべき役割を常に検証しつつ、利

... 者ニーズに応えた蔵書の充実と、より親しまれる地域の情報拠点を目指す。

拡充 □ 縮小・統廃合 □ 質的向上 □ スピードアップ □ 検証 ■ 継続

◎外部評価委員の評価・意見等

年度途中からの評価だが、この結果が今後も継続されるよう、引き続き行ってほしい。

点検・評価に関 するコメント